

地域環境ジュニアパトロール

活動報告書

グループ名	口名田かんきょうパトロール隊
-------	----------------

テーマ	口名田のかんきょう (空気や川のよごれ)を調べよう
-----	------------------------------

メンバーの氏名	学校名	学年
大同 加奈子	小浜市口名田小学校	4年
的場 弘晃	小浜市口名田小学校	4年
下仲 由華	小浜市口名田小学校	4年
兼田 寛子	小浜市口名田小学校	4年
尾上 真弓	小浜市口名田小学校	4年

指導者氏名	宇多 幹子	教職員
-------	-------	-----

1 テーマを選んだ理由

4年生になって、社会科の学習で、ごみがふえていることや水がよごれていることを習った。そこで、自分たちが住んでいる口名田地区の空気や川はどのくらいきいたないのかを知りたくなり、このテーマに決めた。

2 活動の記録

(1) 活動日程と内容

日にち	活動内容
8月 5日(火)	ノックスと酸性雨調べ
7日(木)	水生こんちゅうさがし
9日(土)	けっかのまとめ
11日(月)	まとめ
18日(月)	川のよごれしらべ
20日(水)	川のよごれしらべ
22日(金)	まとめ
25日(月)	まとめ
27日(水)	全体のまとめ

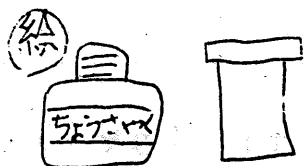
メンバー全員



(2) 調べたこと

① 酸性雨

まず、酸性雨について調べてみた。これは、あるざっしのふろくの薬を使って調べた。調べ方は、雨水にせんようの薬をいれて酸性度をくらべる。酸性雨は、数字が小さいほど酸性度が高いということになる。中性の水だと7.0である。



調べたけっかは、「5.5」。福井県全体では、そのざっしで調べてみたら、「5.4」だった。少しだけ口名田の方がきれいだとわかった。福井県の中にも、さばえ市や今庄町のように3.4以下（すごい酸性雨）になっている所もあって、びっくりした。

② 空気のごれ

次に、酸性雨ともたいへんかんけいのある空気のごれについて調べてみた。これもざっしのふろくを使ってノックスのうでで調べた。ノックスとは、自動車のはい気ガスや工場から出るけむりなどにふくまれていて、空気をよごすもとになるちっそ酸化物のことである。このノックスはそのままでは特に害はない。でも雨水にとけると酸性雨となって木をからしてしまったり、強い日光に当たると光化学スモッグを引き起こして、わたしたちの目やのどをいためてしまったりするということだ。

調べ方は、せんようのしけんかんを1日おいておき、薬をいれて20分待つ。反応してできたえきを表とくらべる。数字が小さいほどきれいということになる。

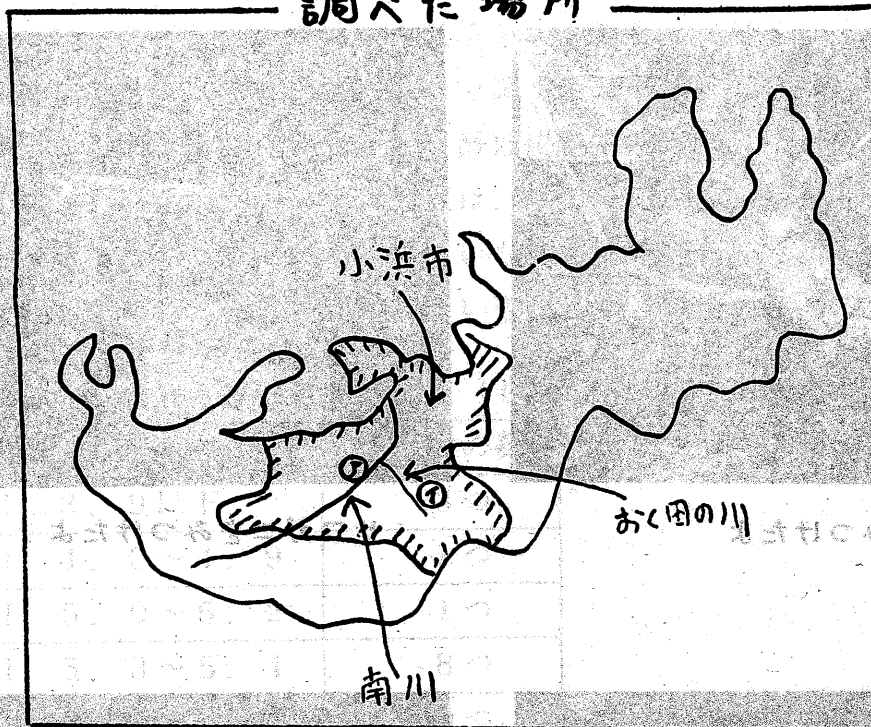
調べたけっかは、「0.2」。し料によると東京都太田区では「0.5」、東京都小笠原村（父島）では「0.1」ということであつた。だから口名田はけっこうきれいな空気ということになる。

③ 川の水のごれ

〈水生こん虫〉

まず、指標生物となる水生こん虫をさがすことで調べてみた。メンバー5人で約10分さがしてみた。調べた場所は、次の地図の㊦㊩の場所である。

調べた場所



ア 南川（口名田橋の下）

指標生物	数	指標生物からわかる水質階級
4. カワゲラ	1	I きれいな水
5. ナガレトビケラ	1	"
6. ヒラタカゲロウ	17	"

イ 奥田縄川（上流の滝の近く）

指標生物	数	指標生物からわかる水質階級
2. サワガニ	1	I きれいな水
5. ナガレトビケラ	1	"
7. ヘビトンボ	1	"

どちらも、指標生物でしらべると、水質階級Iのきれいな水だった。
たきの水は、飲んでみるとあまく、ほわっとしていた。

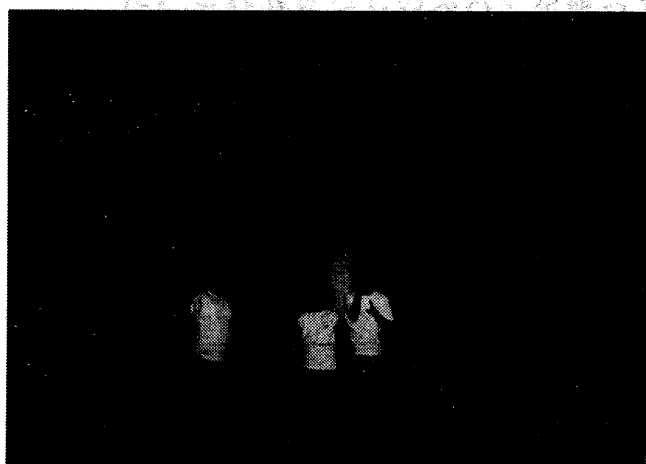
たい、うみこ>う	さるふ③	うみこ	うみこ⑤
うみこ>う	うみこ⑥	うみこ⑥	うみこ⑥



水生昆虫をみつけたよ



サワガニをみつけたよ



奥田縄川の上流の滝の下で



川の水のよごれ調べ

〈水のようす〉

次に、パトロール手帳にのっていた方法で、川の水のようすを観察してみた。調べた場所は (ア) 南川 (口名田橋の下) である。

調べたこと	けっか	調べたこと	けっか
① 水の色	とうめい	④ あわだち	とくになし
② とうしど	たかい	⑤ あぶら	とくになし
③ 流れてくる物	ゴミ、せんざい	⑥ におい	とくになし

時々、ゴミやせんざいが流れてくるが、川の水はきれいだった。

(3) 調べた結果から考えたこと

① 酸性雨

きょ年のデータ（以下の表）から見ると、小浜市はpH 5.3～5.4の所であった。わたしが、きょ年口名田で調べたときは、5.4だった。

しかし、今年調べてみたら5.5と酸性度が高くなり、空気がきれいになってきたことが分かった。口名田地区は、小浜市の中でも自然かんきょうがよい所だと思うので、この自然やきれいな空気を守っていききたいと思う。

今後も酸性雨のちょうさをつづけていきたい。

平成8年度 8月 福井県の酸性度（し料より）

酸性雨のうど	市町村の数
pH 3.9以下	3つ
pH 4.0～4.9	1つ
pH 5.0～5.2	1つ
pH 5.3～5.4	8つ
pH 5.5～5.6	9つ
pH 5.7～5.9	2つ
データなし	11

② 空気のごれ

口名田地区はきれいだけでも、小浜の街はきつきたないと思う。でも、口名田地区にごみのしょうきやく場が今作られているので、今後空気がよごれていくかもしれないのが心配だ。

ノックスのうどは今年からはかるのを始めたから、来年もはかってくらべたい。

③ 川の水のごれ

きれいな所にすむこんちゅうがいてよかった。もっともっと、こんなこんちゅうがすめるような川にしたい。ところで、この川で夏になるとわたしたちは泳いでいる。また、下流に水げん池があり、この川の水は小浜の人の水道水になつている。だから、上流にすんでいるわたしたちは、ごみや油やせんざいを流さないように気をつけ、きれいな川の水として生活に生かしていきたい。

3 メンバーの感想

大同 加奈子

きょ年より、酸性雨ののう度が低くなったことがわかったので、うれしかった。これからも、酸性雨ののう度を調べることによって、口名田のかんきょうをみつめ、この自然を守っていききたい。

的場 弘晃

空気のごれをしらべてみたら、口名田はけっこうきれいな空気よかった。

尾上 真弓

空気のごれを調べたら、けっこうきれいだったが、もっときれいにして、酸性雨ののう度が今よりひくくなってほしいと思う。

下仲 由華

口名田の自然かんきょうのことがわかったのでよかった。

兼田 寛子

調べることによって、自然とふれあえたのでよかった。

4 指導者の感想

4年生の子ども達が、パトロール隊に意欲的に参加し、調査やまとめも自分達の手でするほど自主的に行動できたことがうれしかった。今後も、地域の環境に目を向けさせ、自主的な活動が展開できるように見守っていききたい。

メンバー全員

